

2021年12月15日
エバラ食品工業株式会社

エバラ食品 食育活動 横浜市内の小学校でオンライン食育教室を実施 地元食材と「黄金の味」を使った特別給食&工場動画で黙食を楽しく！

エバラ食品工業株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：森村 剛士）は、11月26日（金）に横浜市立荏田南小学校の6年生に向けて「ふれあい食育教室オンラインプログラム」を実施しました。また、11月29日（月）の「いい肉の日」には地産地消をテーマに掲げ、地元の野菜と肉を使用した同校の「特別給食」に協力しました。

当社では2008年より、神奈川県内の小中学校を中心に、子どもたちが早期に「食の大切さ」や「共食」を楽しく学ぶ食育活動「ふれあい食育教室」を実施しております。今回、横浜市立荏田南小学校より当社へ「ふれあい食育教室オンラインプログラム」の申し込みとともに、当社調味料を使った給食を実施したいとのご相談をいただきました。地元企業の一員として当社は「食育教室」と合わせ、地元の野菜と肉そして当社調味料を使った「特別給食」の提供に協力しました。

エバラ食品はこれからも「作る楽しさ」「食べる楽しさ」「学ぶ楽しさ」を通じて「食の大切さ」を伝え、皆さまの心と体の健康づくりに貢献してまいります。

■ふれあい食育教室オンラインプログラム

新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン形式となりましたが、6年生3クラス合計79名の児童の皆さんに向けて食育教室を実施しました。「お肉のチカラにせまる！」と題し、お肉（たんぱく質）を食べることの大切さや栄養素の働き、食事のバランス、食品表示の見方などクイズを交えて説明。児童の皆さんは熱心に耳を傾け、質疑応答も活発に行われました。



オンライン食育教室の様子

■地産地消をテーマにした特別給食

29日には、地元の野菜と肉、そして当社の「黄金の味」を使用した“はまぽーくのブルコギ風”などの特別給食が提供されました。感染拡大防止のため「黙食」が続く中、給食の時間に「黄金の味」の生産工程を動画で紹介したところ、児童の皆さんは興味深そうに見ていただきました。

給食の後には、当社から全児童の皆さんに「黄金の味（中辛）」1本と給食で提供されたメニューレシピをプレゼントしました。



特別給食



「はまぽーく」のブルコギ風

本件に関するお問い合わせ

■ 報道関係の方のお問い合わせ

エバラ食品工業株式会社 コミュニケーション部 広報 IR 課
TEL 045-226-0234 / FAX 045-650-9025 / ALL_KOUHOU@ebarafoods.co.jp

■ お客様のお問い合わせ

エバラ食品工業株式会社 お客様相談室 TEL 0120-892-970（フリーダイヤル）